

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

<研究代表機関>

施設名：聖路加国際病院

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151(代表)

担当者： 集中治療科 岡野 弘(研究代表者)

<共同研究機関>

施設名：名古屋大学医学部附属病院

住所：〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話：052-741-2111

担当者：春日井 大介

施設名：横浜労災病院

住所：〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町3-2-11

電話：045-474-8111

担当者：斎藤 裕弥

施設名：防衛医科大学校

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2

電話：04-2995-1211

担当者：谷口 裕亮

施設名：福島県立医科大学

住所：〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

電話：24-547-1467

担当者：山本 良平

施設名：自衛隊中央病院

住所：〒154-8532 東京都世田谷区池尻1丁目2-24

電話：03-3411-0151

担当者：寺山 毅郎

経鼻高流量酸素療法施行中の方を対象とした

治療経過に関する研究

1.研究の対象

この研究の対象は、当院で2020年4月1日から2024年3月31日までに経鼻高流量酸素療法を使用した18歳以上の急性呼吸不全の患者さん（COVID-19、外傷を除く）です。

2.研究の目的・方法

経鼻高流量酸素療法を使用して、気管挿管やその合併症を避けることで、患者さんの予後を改善することが期待されています。しかし、適切なタイミングで気管挿管を行わないと、死亡リスクが高まる可能性があります。そのため、経鼻高流量酸素療法を施行する際には、治療失敗を正確に予測するスコアが必要です。この研究では、経鼻高流量酸素療法施行中の急性呼吸不全の患者さんを対象に、新しい予測モデルを開発することを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人聖路加国際大学研究機関の長による実施許可後～2028年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年8月26日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

この研究では、患者さんの集中治療室入室年月日、年齢、性別、身長、体重などの情報を使用します。また集中治療室入室中の動脈採血検査の結果も使用します。

4.外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

次に記す実施体制の通りです。

<代表研究機関>

聖路加国際病院 集中治療科 岡野 弘(研究代表者)

<共同研究機関>

名古屋大学医学部附属病院 春日井 大介

横浜労災病院 斎藤 裕弥

防衛医科大学校病院 谷口 裕亮

福島県立医科大学 山本 良平

自衛隊中央病院 寺山 毅郎